

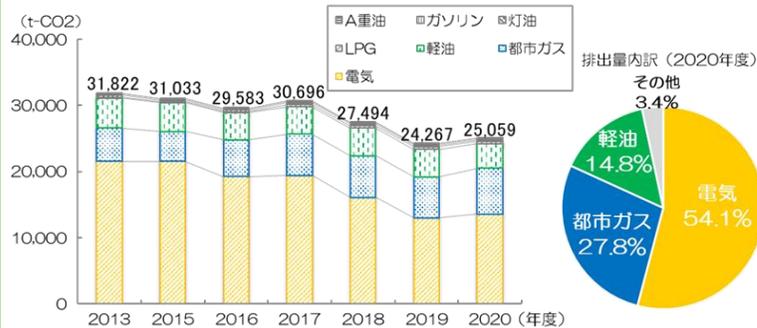
第4次伊丹市地球温暖化対策推進実行計画（事務事業編）（概要版）

●本計画のポイント

- 温室効果ガス削減目標：2030年度48%削減（2013年度比）国の関連計画に見合う目標を設定
- 温室効果ガス削減に向けた取組：5つの柱を軸に取組
取組内容の具体化、取組による温室効果ガス削減量を算定

II. 温室効果ガス排出量の推移

- 温室効果ガス排出量は減少傾向。
- 2020年度においては、2013年度から約21%削減。
- 電気由来の温室効果ガス排出量が5割以上を占める。



I. 本計画の背景

背景（国の動向）

- 2020年10月 首相所信表明演説にて2050年までにカーボンニュートラルを目指すことを宣言
- 2021年 5月 改正温暖化対策推進法において、2050年カーボンニュートラルを基本理念に位置付け。
- 2021年10月 地球温暖化対策計画を策定。「2030年度において、温室効果ガスを2013年度から46%削減することを目指す。さらに50%の高みに向け挑戦を続けていく」と目標設定。

IV. 目標達成に向けた取組

省エネの普及拡大・創エネ蓄エネの普及拡大・移動手段の脱炭素化・使用電気の脱炭素化・環境価値の創造の5つの柱を軸に施策を展開します。

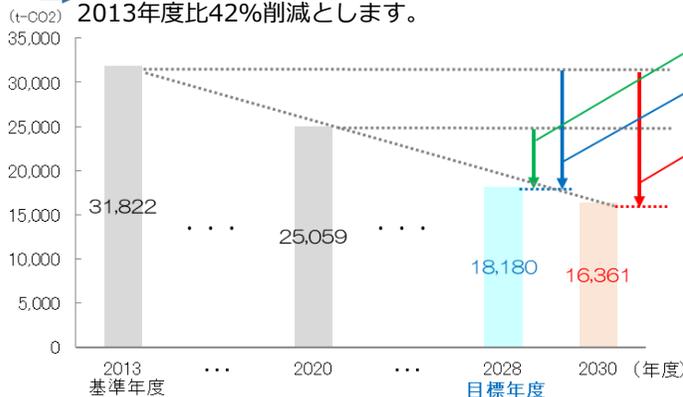
取組内容	省エネの普及拡大	創エネ蓄エネの普及拡大	移動手段の脱炭素化	使用電気の脱炭素化	環境価値の創造
	<ul style="list-style-type: none"> ◆ COOL CHOICEを推進し、これまで取り組んできた高効率機器への更新等を継続実施 ◆ 新病院のZEB Ready認証取得検討等、公共施設における省エネや更新時のZEB化 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 公共施設での再エネ設備等導入ポテンシャル調査結果を踏まえ、太陽光パネルを設置。 <導入予定> ～2028年度 約700kW（18施設） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 代替可能な電動車が備わらない場合を除き、公用車（公営企業含む）の電動化 ◆ ゼロカーボン・ドライブの拡大実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 市施設で使用する電力を非化石電源比率60%電力に切り替え <導入予定> ～2025年度 30% 2026年度～ 60% 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ J-クレジット制度、企業版ふるさと納税制度導入及び運用により得た資金を環境施策に活用
削減量	約800 t（実績値から推計）	約150 t	約550 t	約5,350 t	約50 t
	約6,900 t				

2028年度の削減量(2020年度比)

III. 温室効果ガス排出量削減目標

2030年度48%削減(2013年度比)とし、さらに50%の高みを目指す。

本計画での温室効果ガス排出量削減目標は2028年度に2013年度比42%削減とします。



6,879 t 削減 (2020年度比) 取組における削減量の目標

42%削減 (2013年度比)

48%削減 (2013年度比)

V. 本計画の期間及び進捗管理

本計画は、2023年度を計画初年度とし、2028年度までの6年間を計画期間とします。ただし、社会情勢や環境問題の変化等に応じて、適宜、見直しの検討を行います。

項目\年度	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
地球温暖化対策推進実行計画（第3次）							
地球温暖化対策推進実行計画（第4次）	策定						

PDCAサイクルによる継続的改善を図ります。

<Plan>計画の策定・改定
<Do>取組の推進
<Check>進捗状況の点検・評価と結果の公表
<Act>点検結果を踏まえて、取組の視点や計画を見直し

